

平成18年度第3回宮崎大学役員会議事要旨

日 時 平成18年5月25日(木) 15:00~16:30

場 所 宮崎大学事務局大会議室(事務局棟4階)

委 員 住吉学長、名和理事、碓理事、江藤理事、大谷理事、吉良理事

オブザーバ 水光副学長、谷本副学長、岩切監事、木下監事

列席者 北村経営統括監、川畑企画総務部長、山根財務部長、梶川施設環境部長、金城学術研究協力部長、
関学務部長、羽室企画課長、上原人事課長、南財務課長外

議事要旨の確認

【資料1】により平成18年度第2回役員会議事要旨(案)の確認があり、原案どおり承認された。

議 事

1. 宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士後期課程の設置について

大谷理事から、【資料2】により平成19年度の概算要求事項として宮崎大学大学院農学工学総合研究科博士後期課程の設置について文部科学省と交渉を進めており、また農学部の鹿児島大学大学院連合農学研究科との関連についても鹿児島大学及び文部科学省とも協議をしている旨説明があり、審議の結果、原案どおり設置計画をすすめることで承認された。

2. 宮崎大学における研究戦略(案)について

名和理事から、【資料3】により宮崎大学における研究戦略(骨子案)について説明が行われた。

なお、委員から、戦略案としては大まか過ぎて少し弱いのではないかと、また、特色の分野を絞ってもっと具体的に打ち出すべきではないかとの意見が出された。

審議の結果、再度大学研究委員会で検討し、次回の役員会(戦略会議)に改善案を提案することとなった。

3. (社)宮崎県工業会との包括連携協力協定書(案)について

名和理事から【資料4】のとおり(社)宮崎県工業会からの申し入れにより協定を結ぶ旨の説明があり、審議の結果、原案どおりの方向性で協定を進めて行くことで承認された。

また、学長より、来る6月8日に県工業会通常総会があり、その場で調印式が行われる予定であることの説明があった。

4. 宮崎大学将来構想(最終答申)への対応について

学長から、【資料5】のとおり宮崎大学将来構想(最終答申)に対する各理事の意見が出されたので、各自内容を検討した上で、次回の役員会(戦略会議)で改めて審議する旨の発言があり、継続審議となった。

5. 医学部地域連携・国際交流委員長からの要望について

大谷理事から、医学部地域連携・国際交流委員長からの要望について部長会議で検討した結果、【資料6】のとおり対応する旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報 告

1. 宮崎大学における国際化推進に向けて-現状分析と今後の課題-について

名和理事から、【資料7】により4月の教育研究評議会で了承された宮崎大学の国際戦略(案)の表題を「宮崎大学における国際化推進に向けて-現状分析と今後の課題-」と明記し進めていきたいとの報告があった。

2. 宮崎大学利益相反マネジメントポリシー（案）及び宮崎大学利益相反マネジメント規程（案）について
名和理事から、【資料8】のとおり宮崎大学利益相反マネジメントポリシー（案）及び宮崎大学利益相反マネジメント規程（案）の制定理由等について説明があり、本日の教育研究評議会で承認され、18年5月25日から施行する旨の報告があった。
3. 第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画について
施設環境部長から、【資料9】等により文部科学省が策定した「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画」についての詳細な説明があり、本学も予算の状況を考慮した上で、5か年計画を策定し推進していく旨の報告があった。
4. 損害賠償請求控訴事件の判決の確定について
江藤理事から、損害賠償請求控訴事件の判決の確定について、本学の全面勝訴である旨の報告があった。
5. 第2回教育研究評議会の報告について
学長から、本日開催された第2回教育研究評議会の議事の概要、各部局・センターの動向等について報告があった。
6. その他
大谷理事から、【資料10】により宮崎大学新規採用職員研修の実施報告があった。

次回の役員会について

次回の定例役員会は6月22日（木）15時からを予定しており、6月の役員会（戦略会議）は、都合により曜日を変えて6月6日（火）14時40分からの開催予定である旨報告があった。